

1億円の札束の重さに驚く
子どもたち＝大垣市恵比寿
町、大垣西濃信用金庫大信
ホール

本物の1億円「重い」



子どもらびっくり

大垣西濃信金で金融教室

大垣市恵比寿町の大垣西濃信用金庫大信ホールで10日、夏休み親子金融教室が開かれ、小学生の親子40組約100人が、本物の1億円の札束に触れるなど、楽しみながらお金の大切さを学んだ。

金融教育の一環として、合併前の旧大垣信用金庫が9年前から開いている。本店営業部や貸金庫を見学したほか、岐阜大教育学部の大藪千穂教授が講師となり、クイズを通じて紙幣の

偽造防止技術や、モノやサービスと交換できるお金の役割を教わった。
1億円分の1万円札の札束(約10キ)や1千万円分の千円札の札束(約10キ)、袋に入った100万円分の500円硬貨(約14キ)などが用意され、子どもたちは両手で抱えて記念撮影を楽しんだ。森奏翔君(6)＝大垣市静里町＝は「こんなにたくさんのお金を見るのは初めて」と感激していた。
(土屋健二)